

授業科目	公衆衛生看護方法論 I				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保健師		ナンバリング	NU21702J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2 DP4-2			
担当教員	布花原 明子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>地域の健康課題を解決のために、地域に暮らす個人/家族・集団・組織を対象とした公衆衛生看護の支援方法と技術を解説する。保健指導、健康相談、健康診査、家庭訪問、健康教育、グループ支援・地域組織活動について解説する。また、対象特性に応じた方法の選択や、各々の方法を組み合わせた継続的な支援について解説する。実務家教員として、保健師の経験を活かして、実践例を取り上げながら授業を進める。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.公衆衛生看護活動における保健指導について説明できる(DP1-2,DP2-1)。</p> <p>2.個人/家族を対象とした支援に活用できる知識と理論を根拠として、個別支援の方法と技術を説明できる(DP1-2,DP2-1,DP3-2,DP4-2)。</p> <p>3.集団を対象とした健康教育に活用できる知識と理論を根拠として、教育的支援の方法と技術を説明できる(DP1-2,DP2-1)。</p> <p>4.グループ支援・地域組織活動に活用できる知識と理論を根拠として、グループ支援・地域組織活動の方法と技術を説明できる(DP1-2,DP2-1,DP3-2,DP4-2)。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	40	0	30	0	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	10				20		30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30		20				50	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)			5		5		10	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)			5		5		10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
公衆衛生看護技術の基本的な理論・知識をよく理解し、対象特性を理解した上で、特性に合わせた支援方法と技術を正確かつ具体的に説明できる。				公衆衛生看護技術の基本的な理論・知識を理解し、対象特性を理解した上で、特性に合わせた支援方法と技術を説明できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	テーマ:公衆衛生看護における保健指導(布花原明子) 社会の変化をふまえ、公衆衛生看護に求められる保健指導について解説する。	講義	復習: 授業内容の復習	30
2	テーマ:対人支援の基本と技術(布花原明子) 対人支援の目的、過程及び特徴について解説する。また、主な対人支援の技術について解説する。	講義	復習: 授業内容の復習 キーワード:①カウンセリング ②コーチング	45
3	テーマ:健康相談(布花原明子) 健康相談の目的、対象及び方法を解説する。また、対人支援技術(カウンセリング)を実際に健康相談にどう用いるかについて解説する。	講義	予習:配布プリント「生活者としての個人の理解と支援技法」 復習:課題及び授業内容	90
4	テーマ:健康診査(布花原明子) 健康診査の目的・法的根拠及び個人のライフサイクル別に実施される主な健康診査と保健指導について解説する。また、対象者全体への支援と未受診者対策の必要性について解説する。	講義	予習:「乳幼児健康診査」「特定健康診査」の動画を視聴する。授業時に説明する。 復習:授業内容 キーワード: ③特定健康診査・特定保健指導	45
5	テーマ:無関心層へのアプローチとナッジ理論(布花原明子) 健康格差と健康への無関心層との関連を解説する。地域の無関心層を対象としたナッジ理論と、実践への応用について開設する。	講義	復習:授業内容 キーワード: ④ナッジ	30
6	テーマ:ヘルスリテラシーと保健指導に活用できる理論(布花原明子) ヘルスリテラシーの概念と行動変容理論についてステージモデルを解説する。対人支援技術(コーチング)をどのように行動変容のための保健指導に用いるのかについて解説する。	講義	復習:授業内容 キーワード: ⑤ヘルスリテラシー ⑥変化のステージモデル	90
7	テーマ:家庭訪問1.(布花原明子) 家庭訪問の目的、法的根拠、対象把握の方法と優先順位について解説する。また、家庭訪問の基本的な流れと展開過程を解説する。	講義	復習:授業内容	45
8	テーマ:家庭訪問2.(布花原明子) 事例を通し、生活の場で行われる家庭訪問の支援について解説する。また、家庭訪問と他保健事業とを連動して支援することを解説する。	講義	予習:予習:事例の理解に必要な知識の調べ学習 復習:授業内容	45
9	テーマ:家庭訪問による継続支援と支援体制(布花原明子) 事例を通し、本人の病状の進行に応じて社会資源を導入し地域での療養生活を支える保健師の役割と、関係機関及び多職種間のサービス調整機能について解説する。	講義	予習:事例の理解に必要な知識の調べ学習 復習:課題レポート ※詳細は授業時に提示	90
10	テーマ:健康教育(布花原明子) 健康教育の目的と展開過程(企画・実施・評価)解説する。また、健康教育の方法、技術及び教育媒体について解説する。	講義	復習:授業内容	30
11	テーマ:地域で行われる健康教育(外部講師:北九州市保健福祉局健康教育担当係長・布花原明子) 地域で展開されているヘルスプロモーションの健康教育について、住民の主体的な健康課題の解決に向けた保健師の支援役割を解説する。	講義	復習:授業内容	30

12	テーマ:グループ支援・地域組織活動(布花原明子) 健康づくりに関する自主グループ及び地域組織の種類と特性について、またグループ支援・地域組織活動の目的と理論を解説する。	講義	復習:授業内容	30
13	テーマ:グループ支援・地域組織活動(布花原明子) グループ支援・地域組織活動の支援技術と評価について解説する。	講義	復習:授業内容	30
14	テーマ:授業のまとめ(布花原明子) 個人/家族、集団・グループ、組織を対象とした公衆衛生看護の方法と技術について質問を通して理解を深め確認する。	講義	復習:授業内容	30
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	本講義は、1年次「公衆衛生看護学概論」で学んだ公衆衛生看護の概念が基盤となります。また、個人/家族を対象とした支援の方法を理解するための予備知識として、個人の対象理解には「成人看護学概論」「老年看護学概論」「母性看護学概論」「小児看護学概論」の知識も必要です。家族の対象理解には「家族と健康」の知識が必要です。そのため、本科目と関連科目とを関連づけて学習し理解を深めてください。			
テキスト	・中村裕美子他著:標準保健師講座2 公衆衛生看護技術, 医学書院.			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師ジャーナル 医学書院 ・上野昌江他著:公衆衛生看護学第2版, 中央法規. ・宮崎美砂子:最新公衆衛生看護学総論 日本看護協会出版会 ・村島幸代:最新保健学講座2 公衆衛生看護支援技術 メヂカルフレンド社 ・麻原きよみ:公衆衛生看護学テキスト 公衆衛生看護技術 医歯薬出版株式会社 			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	住民の健康づくりを支援する保健師の姿をイメージできますか。授業では、個/家族・集団・グループ組織を対象とした支援方法を学びます。実務経験もお話していきたいと思います。 地域包括支援システムの構築が推進され、地域で予防から退院後の療養生活支援までを支えるために、看護師と保健師との連携が重要です。図書館では「保健師ジャーナル」や「地域保健」などの雑誌を閲覧できます。地域の公衆衛生看護活動が写真と合わせて数多く紹介されていますので、ぜひ読んで理解を深めてください。
達成度評価に関するコメント	試験、レポート及び課題の内容については、授業の中で指示をする。 「それ以外の評価」では、シラバスに記載されているキーワード①～⑥の調べ学習を行い成果物を提出する。提出期限は後日提示する。